

欧州共同体による使節権の行使状況 1967 - 2002年

川崎 晴朗

The Exercise of the Right of Legation by the European Communities 1967-2002

Seiro KAWASAKI

Abstract

Pursuant to my monograph, "The Exercise of the Right of Legation by the European Communities 1952-1967," published in Vol. of *The Bulletin*, I hereby present to the public the results of my research on the same subject for the period 1967-2002. During this 35-year period, as many as 185 non-Member States (including the East African Community) accredited diplomatic missions to the European Communities, and some, for various reasons, closed theirs. The result was that, as of July 2002, when the European Coal and Steel Community (ECSC) ceased to function, 168 non-Member States were maintaining missions and representations to the European Communities. It is noteworthy that the ECSC and the other Communities observed, in a great measure, standard diplomatic forms in their international relations till the middle of 2002.

The Communities engaged, between 1952 and 2002, in an active form of diplomatic representation in non-Member States: this topic will be dealt with at a later date, together with a historical description of official relations between the Communities and other international organizations.

はじめに

1. 本紀要第7集に寄せた「欧州共同体による使節権の行使状況 1952-1967年」(以下「前稿」とする。)で、筆者は1952年7月23日に欧州石炭鉄鋼共同体(ECSC)が誕生して以来、1967年7月1日、単一の閣僚理事会及び単一の委員会を設立する条約(併合条約)が効力を発生するまでの約15年間に、域外第三国がECSC並びに1968年初頭に発足した欧

州経済共同体(EEC)及び欧州原子力共同体(ユーラトム)のそれぞれに派遣した常駐代表の歴任表を示した。

今回は、併合条約の実施から2002年7月31日までの35年間における欧州3共同体の全部または一部に対する第三国の外交代表の派遣状況を付表にまとめた。周知のように、2002年7月23日、ECSC設立条約はその効力を失なった¹⁾。したがって、本稿のカバーする期間は、とりもなおさずECSCが消滅した時点

までということになる。このとき以降、欧州共同体は EEC 及びユーロラムの二つとなった。

前稿及び本稿により、三つの欧州共同体が過去50年間、受動的（消極的）使節権をいかに行使してきたかを眺望することが可能になるであろう。

2. 1992年2月7日に調印されたマーストリヒト条約は翌1993年11月1日に効力を発生し、欧州連合（EU）が発足した。

EU は三つ（のち二つ）の欧州共同体を基礎に築かれ、いくつかの分野における加盟国政府間の協力の政策及び形態（policies and forms of cooperation）により補充される一種の国家結合体である。EU が国際法上の人格を有するか否かについて、マーストリヒト条約は明文で規定しておらず、通説は第三国との関係で国際法上の権利能力を付与されているのはあくまでも個々の共同体であるとしている如くである。

しかし、ある国際機関の設立条約に明文の規定を欠く場合でも、加盟国及び域外第三国が異議を唱えないのであれば、その国際機関は、任務の遂行に必要な範囲で国際法上の諸権利の帰属主体となり得るであろう。この点を最初に指摘したのは、筆者の知る限りでは Paul Reuter 教授で、同教授は早くも1953年、国際機関は設立条約に明文の規定がなくても国際交通に参加する生得の能力（une compétence naturelle）をもつ、と述べた²⁾。筆者も、ヨーロッパの統合が進展するにつれ、EU 自体が国際法上の主体として認められ、欧州共同体の既得の権利と抵触しない範囲で国際法上の権利を主張するようになる可能性は大きいと考える。使節権の行使に限っても、例えば EU の発足後、欧州共同体に対する第三国の代表部が EU に対する代表部となった事実（日本政府の欧州共同体代表部については、1996年（平成8年）4月1日、「欧州連合代表部」と改称した。）また、2001年

5月14日、北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）及び EU（3 共同体ではなく）が外交関係を設立した事実³⁾を考慮すれば、EU はすでに第三国により国際法上の主体性を認められつつあるといっても過言ではないといえよう⁴⁾。

* * *

EU の発足に際し、欧州経済共同体は「欧州共同体（EC）」となったが（また、EC 理事会及び EC 委員会は、それぞれ「EU 理事会」と改称された。）本稿は1967年7月から2002年7月までの期間を対象とするため、欧州共同体についても“EEC”と略記するので留意ありたい。

付表についての解説

1. 付表の作成方法は、基本的には前稿に載せたりすと（7頁以下）のそれと同じである。基礎資料としたのは、EC 委員会（のち欧州委員会）が年2回編集している外交団リスト *Corps Diplomatique accrédité auprès des Communautés Européennes*、同委員会の一般報告 *General Report on the Activities of the Communities*（1994年版から *General Report on the Activities of the European Union*、年刊）及び *Bulletin of the European Communities*（1994年1・2月号から *Bulletin of the European Union*、月刊）である。

2. 付表で国名は原則として一般名称を用いたが、混乱を招き得ると考えた場合は正式国名によった。国名の変更については、前稿

3. に掲げたケースのほか、1989年6月18日、ビルマが「ミャンマー」となったことを指摘しなければならない。なお、2003年2月4日、新ユーゴースラヴィアが国名を「セルビア・モンテネグロ」に改めたが、これは本稿の対象とする期間の経過後のことである。

3. 付表のうち、米国からサウディ・アラビアまでの72カ国は併合条約が実施される

1967年7月以前、欧州共同体に代表を信任せしめていた域外国で、EECに対する初代代表の信任日（代表臨時代理／臨時代理大使がまず赴任した場合はその着任日）の順に配列してある。これは、72カ国が少なくともEECには代表を派遣していたためである。

72カ国のうち、欧州3共同体の発足後これに加盟した国が9カ国あり イギリス、アイルランド、デンマーク（以上1973年1月1日）、ギリシャ（1981年1月1日）、スペイン、ポルトガル（以上1986年1月1日）、オーストリア、スウェーデン及びフィンランド（以上1995年1月1日）、したがって、2002年7月現在、63の第三国が共同体に対する代表部を維持していた。（9カ国の代表部は、加盟国がEC理事会〔のちEU理事会〕に対して派遣する常駐代表部（Représentations permanentes）に変質した。）

4．付表には、上記72カ国につづき、1967年7月以後に欧州共同体に代表を信任せしめたマルタからクックまでの113カ国（東アフリカ共同体を含む。）を、初代代表の着任日（代表臨時代理／臨時代理大使がまず赴任した場合はその着任日）の順に置いた。

113カ国のうち、旧ユーゴスラヴィア、南ヴィエトナム、北イエメン、南イエメン、ソ連、東ドイツ及びチェコスロヴァキアの7カ国並びに東アフリカ共同体の代表部はさまざまな理由で閉鎖されたので、2002年7月に代表部を置いていたのは105カ国となる。

* * *

以上により、2002年なかばまでに185カ国（東アフリカ共同体を含む。）が欧州共同体に対する代表部を開設し、うち168カ国の代表部が残ったことが明らかになったと考える⁵⁾。

5．185カ国のそれぞれにつき代表全部の氏名、信任日及び資格を示すべきであるが、スペースの関係上、上記3．の72カ国については併合条約の実施当時に行った代表、実施

後に着任した最初の代表及び2002年7月に在任していた代表を、また上記4．の113カ国については初代及び2002年7月当時に行った代表を掲げ、他の代表は“・・・”で置き換えた。

各代表が三つ（のち二つ）の欧州共同体のいずれに信任されたか、兼任国をもっていたか、居住地がどこであったか等のデータも省略した⁶⁾。

6．前稿で、ECSC最高機関に対するリベリア代表部が閉鎖された事実を指摘したが（注15）、欧州共同体に対する第三国の代表部が一時的にせよ閉鎖されたと思われるケースはその後も見られた。例えばソマリア、スーダン、エチオピア、モルディヴ、リビア等の代表部である（付表の注c、f、j、o、リビアについては8．(1)(i)で後述）。

アフガニスタンは、1977年11月に信任された初代代表のAkram大使が去ったあと、2002年6月にTandar大使が着任するまでの四半世紀に近い期間、6名の臨時代理大使によって3共同体（のち2共同体）に代表されていた。このような例も存在するのである。

7．(1) 欧州共同体と外交関係は設定したものの、まだ代表を派遣するに至っていない第三国が若干ある。

2001年版一般報告には、2001年中に外交関係を開設した第三国としてナウル、ニウエ、マーシャル、パラオ、ミクロネシア及びクックの6カ国が挙げられている（ポイント1131）。このうちクックは、付表で明らかのように、2002年3月に初代代表McClay大使を三つ（のち二つ）の共同体に信任せしめ、またマーシャルは、共同体に対する代表をすでに2名任命、いずれについてもEU側のアグレマンを取付けた（本文の注5）。

EUは、前述のように2001年5月、北朝鮮と外交関係を設定したが、同年版一般報告は、なぜかこれにふれていない。

(2) 1963年10月、EEC側は台湾による代

表部設置の提案に原則的に同意したので、両者間には外交関係が開設されたものと思われるが、1964年2月1日、フランスはEECにおける台湾の代表権を認めないとした⁷⁾。また、1988年6月、EEC・コメコン間に外交関係が設定されたが⁸⁾、相互間に外交使節が交換されることがないまま、1991年6月、コメコンが解体されてこの関係も消滅した⁹⁾。

(3) ヴァヌアツについて、1991年1月及び7月版の外交団リストに同国のページが設けられたので、欧州共同体との間に外交関係が開設されたと考えられるが、2000年1月版以降、かかるページは削除された。その理由は明らかでない。

8. 第三国の代表は、前稿でも述べたように、それぞれが外交使節の階級及び国際機関に対する代表に与えられる肩書の2種をもつが、それぞれにつき、一、二の例外が観察される。

(1) 外交使節の階級については、各代表は特命全権大使である(ヴァチカン代表は *nonce apostolique*)。しかし、次の二つの例外がある。

(i) リビアは1973年4月、全人民による独自の直接民主主義を制度化し、1980年5月12日、在ベルギー大使館兼EEC代表部は「人民事務所」となり¹⁰⁾、Haamid Lahdiri が「人民事務所書記」となった。1980年12月15日版外交団リストでは、彼を含む全館員の着任日が同年5月12日となっている。

1986年4月版リストではリビアのページのみ残され、人民事務所のメンバー全員の氏名が消えている。その理由は明らかでないが、あるいは同事務所は一時的に閉鎖されたのであろうか。しかし、1988年10月版リストで Mohamed Sharfeddin Alfaituri 書記が “*désigné*” として掲げられ、このような事態に終止符が打たれた。Alfaituri 書記は1989年1月24日着任したが、EC委員会の外交団リストでは、1988年10月版以降(すなわち、彼

が “*désigné*” として掲げられたときから) 氏名の前に “S.E.” の尊称が付されていた。これは後任の Hamed Ahmed Elhouderi 書記(1995年11月21日着任)についても同様であったが、1997年1月版から “S.E.” が付されなくなった。その理由は明らかでない。

(ii) エチオピアでは、1974年、軍事政権の下に共和制が樹立され、同年7月8日、Ghebrechidan Alula 参事官(1970年11月20日着任)がEECに対する代表となったが、資格は “*Représentant plénipotentiaire*” であった¹¹⁾。

エチオピア代表部は事実上閉鎖されたようであるが(付表の注*j*参照) 1979年7月、改めて3共同体に対する代表部を開設、Ghebray Berhane 代表が着任した。同代表の資格は特命全権大使であった。

(2) 欧州共同体に対する第三国代表は、一般に “*Head of Mission*” (仏 *Chef de la Mission*) の肩書をあわせもつ。しかし、前稿注8で指摘したように若干の例外があり、本稿で扱う期間については次の通り。

(i) かつて AASM (EEC に連合されたアフリカ諸国) と称された19カ国のEECに対する代表の肩書は現在でも “*Representative*” であるが、AASMと同様な経済構造を有する国のうち、東アフリカ3カ国(ケニア、ウガンダ及びタンザニア)は1969年9月24日、アルーシアでEECと連合協定に調印した。この協定は1971年1月1日に効力を発生したが、そのときはウガンダ及びタンザニア代表を兼ねていたケニアの Daniel Owino 大使は離任していた(後出の(2)参照)。EECとしては、同大使の後任には、AASMの代表と同様、“*Representative*” の肩書を付与する予定であったと思われる。何故なら、EEC委員会が編集する外交団リストの1971年2月版の *Corrigendum n°1* (同年5月刊)を見ると、当時 Owino 大使の後任者はまだ着任しておらず、東アフリカ共同体3カ国の代表の氏名欄

は空白であるが、そのタイトルが“représentant”として掲げられているからである。しかし、1976年にウガンダ及びタンザニアが独自の代表を、また翌年ケニアがOwino大使の後任者をそれぞれ3共同体に派遣したときアルーシア協定はすでに効力を失なっていたため、3人の代表の肩書は、一般第三国の代表と同様、“Head of Mission”であった。

(ii) テュニジア及びモロッコとEECとの間の連合協定がいずれも1969年1月に効力を発生し、EECに対する両国の代表は“Head of Mission”から“Head of Representation”となった。

(iii) ギリシャにつづき、トルコ、マルタ及びサイプラスがそれぞれ1964年12月1日、1971年4月1日及び1973年6月1日、EEC設立条約第238条に基づきEECと連合関係に入った。その結果、これら3カ国のEECに対する代表は“Permanent Delegate”となった。ただし、3共同体に対するマルタのGeorge T. Curmi大使(1968年2月29日信任)は1971年4月、EEC・マルタ連合協定が実施された2ヵ月あまりのち、同年6月19日離任したが、その間“Head of Mission”の肩書を保持した模様である¹²⁾。

EECは、設立条約第238条(またはマーストリヒト条約と同時に調印されたEEC改正条約第310条)により、ハンガリー等中欧10カ国と連合協定(とくに「欧州協定」(Europe Agreement)と呼ばれる。)を締結したが、これら10カ国のEECに対する代表の資格は“Head of Mission”のままとなっている。

9. 不完全独立国及び連邦国家を構成する支邦が限定的な外交能力を認められ、使節権を行使する例は、これまでも国際社会に存在した¹³⁾。

(1) クックは2001年に欧州3共同体と外交関係を設立し、翌年3月に初代表を派遣した(前述)。同国は1965年、ニュー・ジラ

ンドから独立を付与されたが、その国際的地位は“self-governing territory in ‘free association’ with New Zealand”であり、ニュー・ジラランドがその外交及び防衛に関して一定の範囲で責任をもつ¹⁴⁾。あるいはクックは古典的な意味では独立国とはいえないのかも知れないが、EU側の承認を得て、3共同体に外交使節を信任させしめたことになる¹⁵⁾。

(2) EU委員会(のち欧州委員会)編の外交団リストは、1993年4月版からタイトルが*Corps Diplomatique accrédité auprès des Communautés Européennes et Autres Représentations auprès de la Commission* となり(1994年4月版より“Autres”の語が削除された。)欧州共同体に対する第三国代表部のリスト“Missions accréditées auprès des Communautés Européennes”につづき、“Représentations auprès de la Commission”のリストが加えられようになった。このリストによると、いくつかの国際機関のほか中国の特別行政区(香港及びマカオ)、パレスチナ自治政府及びマルタ騎士団が欧州委員会に連絡事務所を置いている。これら事務所が委員会から“diplomatic status”を与えられているか否かわからないが、これも国際社会から必ずしも完全独立国として承認されていない政治的主体が使節権を行使している例といえるかも知れない。

1993年4月版の“Représentations・・・”には香港、マカオ及びマルタ騎士団の事務所が載っており¹⁶⁾、同年10月版からパレスチナ自治政府の代表部(Délégation Générale Palestinienne)が加えられたが、Chawki Armali代表(Délégué Général Palestinien)の着任日は1983年11月1日である。(この日付は、2000年1月版リストから記載されるようになった。)Armali代表は当初PLOを代表していたが、1993年9月13日、イスラエル及びPLOが「暫定自治の取極に関する諸原則の宣言」に調印、パレスチナ自治政府(PA)の設

立を定めたため、同代表は PLO のみならず PA をも代表することとなり、代表部は外交団リストに載るようになったのであろう。

10. 1997年 1 月版 外交団リストから、“Vade-mecum à l’usage du corps diplomatique” が加えられたが、これは第三国代表の着任・離任等に関するルールを集大成したものである。かかる場合に国家間で遵守されているルールとほぼ同様であるが、とくに留意すべきことは次の諸点であろう。

(1) “Vade-mecum” の第18項に、ヴァチカン代表が欧州共同体に信任された外交団の団長である旨記されている。1970年11月、ヴァチカンが欧州 3 共同体に外交代表を派遣することになった際、EC 理事会及び EC 委員会がそのように決定したものである¹⁷⁾。

(2) “Vade-mecum” の第13項は、第三国代表は理事会議長及び委員会委員長に対し同一文の信任状を用意する、また、議長及び委員長は代表を “separately” に接受する、と述べる。これは、前稿でふれた1966年1月28・29日に成立した「ルクセンブルグの妥協」に基づく措置であるが、採択されたテキストでは、EEC 及びユーラトムに対する第三国代表の信任状は、その受領のため集まった理事会議長及び委員会委員長に “jointly” に提出される、とある¹⁸⁾。信任の式典に議長及び委員長がそろって出席するための時間調整が困難であることが次第に明らかとなり、信任状を別々に受領することになったのであろうか。第三国代表がいつから理事会議長及び委員会委員長に別々に信任されるようになったのか、正確なことはわからない。1968年3月9日、Jorge Barreiro 大使が EEC 及びユーラトムに対するウルグアイ代表として、また Daniel Owino 大使が EEC に対するケニア及びタンザニア 2 カ国の代表としてそれぞれ信任されたとき、同年 5 月の *Bulletin* は理事会議長及び委員会委員長のそれぞれ (each) が両大使を接受した、と記録したが (ポイント

82)、これが最初の例かも知れない。(Barreiro 大使は、前日の 3 月 8 日、ECSC に対するウルグアイ代表として委員会委員長に接受された。) なお、議長及び委員長に対するある代表の信任状の提出日が違う場合は、あとの日付がその代表の信任日とされる。

(3)(2) に関連するが、1966年 1 月に「ルクセンブルグの妥協」が成立し、翌1967年 7 月には合併条約が実施されたことで、第三国代表の信任手続は当初かなり複雑化した。

(i) 「ルクセンブルグの妥協」のあと欧州 3 共同体に信任された最初の代表は南アフリカ共和国の Frederik Simon Steyn 大使である。同大使は1966年 2 月 3 日、ECSC 最高機関の Dino Del Bo 議長に信任されたあと、同年 7 月 11 日、EEC の Joseph Luns 理事会議長及び Walter Hallstein 委員会委員長に、またユーラトムの Luns 理事会議長及び Antonio Carelli 委員会副委員長にそれぞれ信任状を提出したが、これは新しい手続にのっとったものである。

(ii) 併合条約の効力発生後、3 共同体の全部または一部に信任された最初の代表はフィンランドの Reino Ilmari Honkaranta、マルタの George T. Curmi、スウェーデンの Sven Backlund、アイスランドの Niels P. Sigurdsson 及びギリシャの Stavros G. Roussos 各大使であった。1968年 2 月 27 日、EC 委員会の Jean Rey 委員長は Honkaranta、Curmi、Backlund 及び Roussos 各大使の ECSC 代表としての信任状を受領し、同年 2 月 29 日、EC 理事会の Maurice Couve de Murville 議長及び Rey 委員長は、Honkaranta、Curmi 及び Backlund 各大使を EEC 及びユーラトムに対する代表として、Sigurdsson 大使を EEC に対する代表として、また Roussos 大使をユーラトムに対する代表として、それぞれ接受した。ギリシャはすでに EEC と連合関係にあり、Roussos 大使は同じ 2 月 29 日、EEC に対する代表

として理事会議長及び委員会委員長を表敬した¹⁹⁾。

すなわち、併合条約で ECSC 最高機関は EC 委員会に併合されたが、当初第三国代表は、ECSC については特別の手續により EC 委員会に信任されていたようなのである。しかし、ECSC に対する代表はいずれも EEC 及びユートラムに対する代表を兼ねており（インドの ECSC に対する代表のみは EEC を兼任した、本稿注 6）やがて彼等は ECSC について特別の信任手續を踏まず、EC 理事会（のち EU 理事会）及び EC 委員会（のち欧州委員会）に信任状を提出するようになった。

各国別の解説

付表に掲げる 185 ヶ国（東アフリカ共同体を含む。）のうち、下記の国及び国家グループについて若干の解説を加えたい。

（1）新旧ユーゴスラヴィア

欧州 3 共同体に対する旧ユーゴ代表部がいつ閉鎖され、新ユーゴ代表部がいつ設置されたかを確定するのはかなり困難である。本稿では、旧ユーゴ代表部の閉鎖はスロヴェニア、クロアチア及びマケドニアにつづき、1992年 3月 3日、ボスニア・ヘルツェゴヴィナが旧ユーゴを離脱したときとする。

旧ユーゴを構成していた 6 共和国で残されたセルビア及びモンテネグロは、1992年 4月 27日、旧ユーゴを継承するユーゴ連邦共和国（新ユーゴ）の創設を宣言した。しかし国際社会はこれを認めず、同年 9月 22日、国連総会は新ユーゴを事実上追放し、同国に新たな加盟を申請するよう求める決議を圧倒的多数で採択した。欧州共同体としても、旧ユーゴがこれと樹立した外交関係を新ユーゴが自動的に継承することを認めず、EC 委員会の外交団リストから同国のページが削除された。

新ユーゴの創設が宣言された際は旧ユーゴの Milhajlo Crnobraja 大使が在任していたと

思われるが、その後同大使は離任、1992年 10月版外交団リストでは Dragoslav Lopandic 三等書記官（1988年 8月、旧ユーゴ代表部の館員として着任した。）が臨時代理大使として掲げられている。（ほかに館員はいなかった。）

新ユーゴが外交団リストにはじめて登場したのは 1994年 4月版においてである。しかし、この版、1994年 10月版及び 1995年 4月版では、同国は “Missions accréditées auprès des Communautés Européennes” ではなく、“Autres Représentations” の欄に掲げられた²⁰⁾。新ユーゴが “Missions・・・” に載るようになったのは、1995年 12月版からである。当時は、依然として Lopandic 書記官が臨時代理大使であった。

2000年 9月に新ユーゴで実施された選挙で ミロシェヴィッチ大統領はコシュトウニツァ候補に破れ、以来、新ユーゴは国際社会との協調路線へ大きく転回したが、同年 10月 9日、EU 理事会は新ユーゴに関する presidency statement を発表し、1998年 以来の制裁の解除と共に、EU 加盟国ができるだけ早く同国との外交関係を再開または正常化する願望を表明した²¹⁾。本稿では、新ユーゴが 1995年 12月版外交団リストの “Missions・・・” の欄に掲げられた時点で同国と 3 共同体との間に外交関係が開設されたと考え、そのように扱った。

（2）東アフリカ共同体とその加盟国

1967年 12月 1日、ケニア、ウガンダ及びタンザニアで構成される東アフリカ共同体（East African Community: EAC）が発足したが、構成 3 ヶ国は、EEC が 1963年 7月に行なった呼びかけに応じ、これと連合協定を締結するべく交渉を開始した。（これが、8 . (2)(i) で述べたアルーシア協定に結実する。）1965年 3月に行なわれた第 1 回交渉で、3 ヶ国は同年 6月に予定されていた第 2 回交渉を開始する前、EEC と外交関係を樹立す

る計画であることを明らかにした²²⁾。第2回交渉は結局1965年11月にブリュッセルで行なわれたが、この交渉の結果、EECとタンザニア及びウガンダとの間に外交関係が設定された²³⁾。1968年3月9日、ケニアの西ドイツ駐割 Daniel Owino 大使が兼ねてタンザニア及びケニアのEECに対する代表として信任され、さらに5月30日、ウガンダ代表として信任された。ただし、同大使は3カ国を別々に代表したのであって、東アフリカ共同体の代表ではなかった。

Owino 大使は離任し、1970年8月21日、J.N.Onyango 参事官が臨時代理大使となったが、外交団リストでは1974年3月版から“Afrique de l’Est (Communauté de l’Afrique de l’Est)”のページが設けられ、3カ国のページは削除された。そこで、本稿では、東アフリカ共同体の代表部は1974年3月に設置されたと見做すこととしたい。

東アフリカ共同体は1970年代のなかばには有名無実の存在となり、1976年5月版リストからそのページは消え、3カ国別々のページが復活した。同版ではケニアは依然として Onyango 参事官がEECに対する臨時代理大使となっているが、ウガンダについては Eliphaz A. Odeke 大使が3共同体に対する代表として掲げられた。タンザニアはページが設けられているのみである(3共同体に対する同国の Daniel N.M. Mloka 代表が着任したのは1976年11月)。本稿では、Odeke 大使が信任された1976年3月1日をもって東アフリカ共同体代表部が閉鎖されたと考え、そのように扱った。

(3) カリブ共同体の加盟国

欧州共同体に対し、同一の大使が複数の国を代表するケースは東アフリカ3カ国以外にもある。

1973年8月1日に発足したカリブ共同体(CARICOM)の現在の加盟国のうち、ドミニカ、セント・ルシア、アンティグア・バー

ブーダ、セント・ヴィンセント及びセント・クリストファー・ネイヴィースの5カ国は、本稿のカバーする期間に、Edwin Laurent 大使を二つの欧州共同体に対する共通の代表として信任せしめつつあった。すなわち同大使は1994年2月から1995年4月にかけてセント・ルシア、セント・クリストファー・ネイヴィース及びセント・ヴィンセント代表として信任され、2002年なかばにはドミニカ及びアンティグア・バーブーダ両国の代表として“designé”されていた。この状態は、2003年7月版外交団リストでも変わっていない。

5カ国は、セント・クリストファー・ネイヴィースをのぞき、いずれも当初は欧州共同体に対し独自の代表を派遣していたが、のち Laurent 大使を5カ国共通の代表とする方針を樹てた模様である。

セント・ルシア、セント・ヴィンセント及びセント・クリストファー・ネイヴィースの3カ国は、独立後しばらくの間、イギリスに対し共通の高等弁務官を任命していたが、その1人、Claudius C. Thomas 高等弁務官は1984年2月、セント・ルシアの初代表として3共同体に信任された。彼はセント・ヴィンセント及びセント・クリストファー・ネイヴィース代表としても信任される予定であったらしいが、1987年4月、ロンドンで死亡した。

同年6月、Alan Richard Gunn が3カ国共通の高等弁務官としてロンドンに着任したが、翌1988年7月、兼ねて3共同体に対する初代のセント・ヴィンセント大使として信任された。1989年4月版外交団リストから、同大使がセント・ルシア代表として任命されていたことがわかる。(“designé”となっている。)彼はセント・クリストファー・ネイヴィース代表にも任命される予定であったと思われる。しかし、Gunn 高等弁務官が1994年3月25日にロンドンを離れるまで、セント・ルシア及びセント・クリストファー・ネ

イヴィース大使として3共同体に信任される機会はずいに訪れなかった。

セント・ルシア、セント・クリストファー・ネイヴィース及びセント・ヴィンセントは3共同体に対する共通の代表部をブリュッセルに置くこととし、前述のように、Laurent 大使が信任された。

ドミニカ及びアンティグア・バーブーダは、それぞれ在ロンドン高等弁務官を兼ねて3共同体に対する代表としていたが、ドミニカは1986年中に、またアンティグア・バーブーダは1997年中にそれぞれの代表部をブリュッセルに移し、さらに前述した如く、Laurent 大使をそれぞれの代表に任命した。

カリブ共同体には、上記5カ国以外にも9カ国が加盟し、それぞれが欧州共同体に代表を信任せしめているが、将来加盟国全部が同一の代表を派遣するのか、またこの代表がカリブ共同体代表の資格を与えられるのは、もとより推断の及ばないところである。

(4) 南北イエメン及びイエメン共和国

北イエメンは、1972年3共同体と外交関係を設定し²⁴⁾、翌1973年4月、初代代表を派遣した。南イエメンについては、1979年6月30日版外交団リストにはじめて同国のページが設けられ、1982年10月31日版から1989年4月版まで、在フランス Hasson 大使が“ désigné ”として掲げられたが、結局同大使が3共同体に信任されたのは1989年7月であった。

南北イエメンは1990年5月22日、イエメン共和国として統合された。当時は、北イエメンは Al-Robaee 大使が代表で、南イエメンの Hasson 大使はすでに離任していた。Hasson 大使の離任日は明らかでないが、本稿では、南北イエメンが統合した1990年5月に南イエメン代表部が閉鎖されたとした。ただし、同代表部は同年4月版外交団リストからページが削除されているので、実際にはもっと早かったと考えられる。(1989年11月30日、南

北イエメン両国首脳の間で1年以内の統合達成を目指す「アデン合意」が成立したが、その後、統合の動きは大幅に早められた。)

イエメン共和国の初代代表には、Al-Robaee 大使が就任した。同大使のみならず、北イエメン代表部の3名の館員がそのままイエメン共和国代表部の館員となっており、本稿ではイエメン共和国代表部を新設したものとして扱ったが、実質的には、同代表部は旧北イエメン代表部を継承したものの如くである。

(5) ソ連及びロシア

周知のように、1991年12月21日、独立国家共同体(CIS)が創設され、ソ連は正式に消滅した。本稿では、この日をもって3共同体に対するソ連代表部が閉鎖され、ロシア代表部が開設されたものとする。

1987年1月15 - 16日、ソ連政府の代表団がブリュッセルを訪問、EC委員会とソ連・EEC間の外交関係樹立につき協議した²⁵⁾。翌年8 - 9月、EECとブルガリア、チェコスロヴァキア、東ドイツ、ハンガリー、ポーランド及びソ連との間に外交関係が開設された²⁶⁾。

これら中・東欧6カ国は、1989年1月から1990年4月にかけて、初代代表を3共同体の全部に信任せしめた。

ソ連が消滅した1991年末、同国からは2代目代表にあたる Voronine 大使が在任していたと思われるが、この点は未確認である。同大使が離任していたら、次席の Valentin Bogomazov 公使が臨時代理大使であったことになる。ロシア代表部が外交団リストにはじめて登場するのは1992年4月版であるが、ここに Bogomazov 公使は、依然1989年4月3日を着任日として掲げられている。

(6) チェコスロヴァキア、チェコ共和国及びスロヴァキア

前記(5)で述べたように、チェコスロヴァキアは1988年、欧州共同体と外交関係を開設、翌年6月には Karel Lukas 大使を派遣

した。

1993年1月1日、チェコスロヴァキアはチェコ共和国及びスロヴァキアに分裂した。EC委の*Bulletin*は、これら2カ国は“inherited the diplomatic relations established by and with the former Czech and Slovak Federal Republic”と述べ、さらに、これにより欧州共同体に対する第三国の外交代表部の数は150から151になった、と述べている²⁷⁾。

Lukas 大使は1993年初頭の分裂前に離任した模様で、同年4月版外交団リストにはチェコ共和国及びスロヴァキア両国の代表部が掲げられているが、いずれの代表部についても代表は空席で、また館員は全部が1993年1月1日の着任となっている。チェコ共和国代表部の Pavel Telicka 臨時代理大使は分裂前の1991年8月28日が着任日であったが、この日付も1993年1月1日に変更された。一方、スロヴァキア代表部の Jan Varso 臨時代理大使については分裂前の着任であるか否か明らかではないが、1993年4月版リストでは同年1月1日の着任となっている。

結びに代えて

(1) 前稿で扱った1952年から1967年までの期間については、セネガルをはじめとする19のAASMがきびすを接するようにEECに対し代表を派遣した²⁸⁾ことが一つの際立った特徴であったが、本稿が対象とするその後の35年間については、AASMを含むACP(アフリカ・カリブ海・太平洋)諸国及び中・東欧諸国の多くが三つ(のち二つ)の欧州共同体に外交使節を信任せしめたことが目立つ²⁹⁾。

その結果、欧州共同体に対する第三国の代表部の数は、2002年なかばには168に達した。いまや、EUの域外国は、わずかな例外を除き、そのほとんどが欧州共同体に外交代表部を常設しているといつてよい。これは、現在

の国際関係の中でEUがそれだけ巨大な存在となり、また、この事実を域外世界が十分に認識していることを如実に物語っている。

その一方で、2004年5月以降、EUは中欧・地中海地域にある10カ国以上の国を新規メンバーとして迎えることとなっており、欧州共同体に対するこれらの国の代表部も変質し、われわれのリストから姿を消すことになる。おそらく、第三国代表部の数は、現在が最もピーク状態に近づいているのであろう。

(2) 2003年6月20日、「欧州の将来に関するコンベンション」は欧州憲法制定条約(Treaty establishing a Constitution for Europe)の草案を欧州理事会(EU首脳会議)に提出、10月以降EU加盟15カ国及び2004年5月にEUに加盟する予定の10カ国がこれを審議して来たが、2003年末現在、欧州憲法が最終的にいつ、どのような内容で制定されるかわからない状態である。しかし、コンベンションの草案中、(1)EUに法人格を付与する(2)で述べたように、これまではこの点が明確でなかった。(2)欧州理事会は共通外交・安全保障政策(CFSP)を担当する外務大臣(Union Minister for Foreign Affairs)を任命する、同大臣は、兼ねて欧州委員会の副委員長の人となる、(3)欧州理事会議長は任期2年半(1回の再選が可能)とし、CFSPにかかわる問題でEUを対外的に代表する等の諸点が欧州憲法に組み込まれる場合は、欧州共同体(またはEU)による能動的・受動的使節権の行使ぶりにも大きな影響を与えることになる。

(3) 筆者は、前稿及び本稿につづき、欧州共同体が発足以来現在まで、いかに積極的(能動的)使節権を行使してきたか、そして欧州共同体が同じ期間に他の国際機関との間に設立した公式関係がいかなるものであったかについて実証的な研究を進めたいと願っている。

本文の注

- 1) 欧州委員会、*Bulletin of the European Union*、2002年7・8月、ポイント1.7.11、同、2002年版一般報告、ポイント39-41。
- 2) *La Communauté Européenne du Charbon et de l'Acier* (Paris: Librairie Générale de Droit et de Jurisprudence, 1953), p.17.
- 3) 『外務省調査月報』、2002年度 / No.2、拙稿「北朝鮮とEU・EU加盟国との関係」、28-31頁。
- 4) S. Griller *et al*, *The Treaty of Amsterdam: Facts, Analysis, Prospects* (Vienna: Springer, 2002) は、EUが条約締結権をもたないとしても、これはEUの法人格の必須条件 (prerequisite) ではない、と述べている (53頁)。
- 5) 2002年7月版外交団リストには計169カ国が掲げられているが、マーシャル代表は“*désigné*”となっているので (すなわち、同代表の任命につきEU側の同意 [アグレマン] は得たが、彼はまだ信任状を提出していなかった。) 同国は数えなかった。

EU理事会及び欧州委員会は1997年にマーシャルと外交関係を樹立することに同意し (1997年版一般報告、ポイント1029。2001年版一般報告によると、この関係は2001年に設定された、ポイント1131) 1999年7月版から2001年1月版までの外交団リストにマーシャル代表の Laurence N. Edwards 大使が“*désigné*”として掲げられた。同大使はマーシャルの国連常駐代表でニューヨークに居住し、結局3共同体に信任されないまま離任した。後任の Jackeo A. Relang 大使は1999年12月2日、国連事務総長に信任状を提出したが、2003年1月版外交団リストでは、EEC及びユートラムに対してはまだ“*désigné*”の状態にあった。しかし、同年10月版ではマーシャルのページがなくなっているため、マーシャルは当面、欧州共同体に代表を派遣しないことに決定したのであろう。
- 6) ほとんどの第三国代表は三つ (のち二つ) の共

同体の全部またはEECのみに信任された。(当初EECのみに信任された代表の多くは、のち他の共同体を兼ねるようになった。) 唯一の例外はインドで、同国は1962年3月2日及び同年10月22日、Krishen Behari Lal 大使をそれぞれEEC及びECSCに信任せしめたが、同大使の後任者たちも、2002年7月まではEEC及びECSCのみに、また、このとき以降はEECのみに信任されるようになった。

代表部の若干は当初ブリュッセル以外の地に置かれたが、次第に同地に移るようになり (M. Virally *et al*, *Les Missions Permanentes auprès des Organisations Internationales* (Bruxelles: Bruylant, 1971), I, 773)、2002年7月版外交団リストによると、当時ブリュッセル以外の地にあった代表部は168館のうち9館を数えるにとどまる。(EECに対するソマリア代表部の所在地については、付表の注c)を参照されたい。)

- 7) 『外務省調査月報』、1976年 / No.1、拙稿「中国と欧州経済共同体」、85-7頁。
- 8) EC委員会、第22次一般報告 (1988年) ポイント836。
- 9) リベリアは一時期ECSC最高機関に代表を送っていたので (前述) ECSCとの間に外交関係を樹立していたといえるであろう。同国は1974年12月、EECに対する代表部を開設したが、ECSCとの外交関係は2002年7月まで存続していたと考えるべきなのであろうか。
- 10) 1980年5月14日付 *Le Soir*、3面。
- 11) このタイトルは、偶然であろうが、ソヴィエト政府が1918年の政令で定めた在外使臣の階級 (一つしかなかった。) と同じである。Ernest Satow, *A Guide to Diplomatic Practice* (4th Ed.; London: Longmans, 1957) p.125. 第5版 (1979年) では77頁。第1版 (1917年) 及び第2版 (1922年) はこの点にふれていない。第3版 (1932年) は参照できなかった。
- 12) 1971年2月版外交団リストで Curmi 大使が“*Chef de la Mission*”となっているのは当然で

- あるが、同年5月刊のCorrigendum n°1で肩書の訂正が行なわれていない。
- 13) 『外務省調査月報』、1962年5月、拙稿「ヨーロッパ3共同体の使節権」(1)、64-69頁。
- 14) Barry Turner (ed.), *The Statesman's Yearbook* (London: Mcmillan, 2001), p.1211; Gordon Mclauchlan (ed.), *New Zealand Encyclopedia* (Auchland: David Bateman Limited, 1984), pp.118-9.
- 15) ニウエもクックと類似の国際的地位をもつが、7.(1)で述べたように、同国も2001年、欧州共同体と外交関係を樹立した。
- 16) マカオ事務所も、1993年4月版からしばらくの間は“délégation”であったが、のち香港代表部と同様“Bureau Economique et Commercial”になった。事務所長のタイトルについては、通例“Chef du Bureau de Liaison”であるが、マルタ騎士団及びマカオ代表は、一時期それぞれ名称大使及び名称公使であった。
- 17) EC委員会、*Bulletin*、1971年1月、ポイント92。なお、ヴァチカンが1970年、3共同体と外交関係を設定したことについては、同、第4次一般報告(1970年)、ポイント483。
- 18) EEC委員会、第9次一般報告(1966年)、ポイント13。
- 19) EC委員会、*Bulletin*、1968年4月、ポイント53、54。
- 20) 当時の外交団リストには、9.(2)でふれた“Représentations auprès de la Commission”のリストはなかった。このリストがあったとすれば、新ユーゴはここに掲載されたかも知れない。
- 21) 欧州委員会、*Bulletin*、2002年10月、ポイント1.6.22。
- 22) EEC委員会、第9次一般報告(1965年4月1日 - 1966年3月31日)、ポイント324。
- 23) 同、第10次一般報告(1966年4月1日 - 1967年3月31日)、ポイント336。タンザニアは、はじめ独自の代表として、1966年にClement George Kahama大使を任命した経緯がある(EEC委員会、*Bulletin*、1966年9・10月、ポイント54) また、ウガンダについては、1967年、EECに外交関係の樹立を提案し、受諾されたともいう(同、*Bulletin*、1967年4月、ポイント51) ケニア及びEECの間の外交関係も、1967年に設定された(同、*Bulletin*、1967年9・10月、ポイント49)。
- 24) EC委員会、第6次一般報告(1972年)、ポイント494。
- 25) EC委員会、第21次一般報告(1987年)、ポイント771、同、*Bulletin*、1987年1月、ポイント2.2.22、同年10月、ポイント2.2.38。
- 26) EC委員会、第22次一般報告(1988年)、ポイント900。
- 27) 1993年1・2月、ポイント1.3.96。
- 28) モーリシャスについては代表の派遣がややおくれた。初代のLeckraz Teelock大使は1971年5月11日、“Head of Mission”として3共同体に信任されたが、1973年6月1日にモーリシャスが19番目のAASMになったあと、同大使は、EECについては“Representative”の肩書を与えられた(他の二つの共同体については“Head of Mission”のまま)。
- 29) ACP諸国は、4次に及ぶロメ協定を通じてその数を増やしたが、2000年6月23日、コトヌーで調印されたACP・EUパートナーシップ協定には、77カ国(クック及びニウエを含む。)が参加した。(同協定は、2003年4月1日、効力を発生した。)これら諸国にしても、中・東欧諸国にしても、まだその全部が欧州共同体に代表を派遣している訳ではない。

付表 欧州共同体に対する第三国の代表 (1967 - 2002年)

LISTE DES REPRÉSENTANTS DIPLOMATIQUES ACCRÉDITÉS AUPRÈS
DES COMMUNAUTÉS EUROPÉENNES 1967 - 2002

(1) ETATS-UNIS D'AMERIQUE				(12) CANADA			
27	septembre 1966	John Robert SCHAETZEL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	27	septembre 1966	Paul TREMBLY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
6	novembre 1972	Joseph A. GREENWALD	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	1er	février 1971	James C. LANGLEY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
30	octobre 2001	Rockwell A. SCHNABEL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	27	juin 2000	Mme Laurette GLASGOW	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
(2) GRECE				(13) NOUVELLE-ZELANDE			
28	juin 1962	Constantin N. TRANOS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	30	janvier 1964	Edward FARNON	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
9	octobre 1967	Stavros G. ROUSSOS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	25	juillet 1967	Merwyn NORRISH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
		[Mission changée en représentation d'un Etat membre en janvier 1981]		20	juillet 1999	Mme Dell Clark HIGGIE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(3) ISRAEL				(14) AUSTRALIE			
13	juin 1960	Amiel Emile NAJAR	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	30	avril 1965	Ralph Lindsay HARRY, C. B. E.	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
4	mars 1969	Moshé ALON	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	4	mars 1969	Owen Lennox DAVIS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
19	octobre 1999	Harry KNEY-TAL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	28	septembre 2000	Mme Joanna Miriam HEWITT	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(4) DANEMARK				(15) BRESIL			
1er	avril 1966	Kaj BARLEBO LARSEN	<i>Charge d'Af.a. i.</i>	9	février 1965	Mme Odette de CARVALHO e SOUZA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
11	juillet 1967	Finn Olav GUNDELACH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	19	janvier 1970	Antonio CORRÊA do LAGO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		[Mission changée en représentation d'un Etat membre en janvier 1973]				
(5) JAPON				24	juin 2002	José Alfredo GRACA LIMA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
14	février 1964	Morio YUKAWA (湯川盛夫)	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	(16) MAROC			
10	décembre 1968	Kenichi OTABE (小田部謙一)	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	14	octobre 1963	Bensalem GUESSOUS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
			2	mars 1972	Abdelakder BENSLIMANE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
27	avril 1999	Takayuki KIMURA (木村崇之)	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	28	septembre 2000	Mme Aïcha BELARBI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(6) SUEDE				(17) AFRIQUE DU SUD			
31	janvier 1964	Sten LINDH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	11	juillet 1966	Frederik Simon STEYN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
29	février 1968	Sven BACKLUND	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	11	novembre 1969	Johannes van DALSEN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
		[Mission changée en représentation d'un Etat membre en janvier 1995]		15	mai 2001	Jeremy Matthews MATJILA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(7) SUISSE				(18) ESPAGNE			
29	octobre 1963	Paul Henri WURTH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	28	octobre 1965	Alberto ULLASTRES CALVO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
7	janvier 2000	Dante MARTINELLI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	23	juin 1981	Gabriel FERAN de ALFARO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(8) ROYAUME-UNI						[Mission changée en représentation d'un Etat membre en janvier 1986]	
25	mai 1965	Sir James Alexander Milne MARJORIBANKS, K. C. M. G.	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	(19) SENEGAL			
19	octobre 1971	Arthur Michael PALLISER, C.M.G.	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	14	octobre 1966	Médoune FALL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		[Mission changée en représentation d'un Etat membre en janvier 1973]		11	juillet 1968	Djime Momar GUEYE ^{b)}	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
(9) NORVEGE				13	novembre 1998	Mahmoudou Cheikh KANE	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
1er	juin 1965	Jan Brochmann HALVORSEN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	(20) MEXIQUE			
19	octobre 1973	Jens Mogens BOYESEN ^{c)}	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	29	juillet 1965	Emilio CALDERÓN PUIG	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
			11	mai 1971	Roberto MARTINEZ LE CLAINCHE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
20	décembre 2001	Bjorn T. GRYDELAND	<i>Amb. Ex. Plé.</i>			
(10) IRLANDE				15	mai 2001	Porfirio Alejan do MUÑOZ LEDO Y LAZO DE LA VEGA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
27	octobre 1966	Seán MORRISSEY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	(21) GABON			
6	mars 1970	Sean P. KENNAN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	6	mars 1967	Edouard ADJOMO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		[Mission changée en représentation d'un Etat membre en janvier 1973]		21	mai 1968	Jean DAVIN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
(11) AUTRICHE				27	février 2001	René MAKONGO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
28	octobre 1965	Dr.Karl SCHOBER	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				
14	septembre 1969	Franz Helmut LEITNER	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				
						
		[Mission changée en représentation d'un Etat membre en janvier 1995]					

(22) COTE D'IVOIRE				(33) PEROU			
15	mai 1964	Koffi AOUSSOU	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	19	février 1963	Carlos MIRO-QUESADA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
26	juin 1969	Siaka COULIBALY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	30	mars 1971	Julio C. DOIG-SANCHEZ	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
29	janvier 2002	Mme Marie GOSSET	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	15	mai 2001	José URRUTIA CERUTI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(23) TOGO				(34) REPUBLIQUE CENTRAFRICAINE			
17	septembre 1965	Dr. Gibiri la SIDI-TOURE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	14	février 1962	Roger GUERILLOT	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
21	juillet 1968	Léonard Baguilma YWASSA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	10	septembre 1970	Jean-Louis PSIMHIS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
26	octobre 1998	Anani Kokou NYAWOUAME	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	7	juillet 1998	Armand-Guy ZOUNGUERE-SOKAMBI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(24) MAURITANIE				(35) INDE			
10	septembre 1962	Dr. Mamadou TOURE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	21	décembre 1966	Thirumalraya SWAMINATHAN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
30	octobre 1970	Ely Ould ALLAF	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	26	juin 1970	Bhagvatprasad Raojibhai PATEL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
20	juillet 1999	Mohamed Salem OULD LEKHAL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	27	février 2001	Pradeep Kumar SINGH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(25) SOMALIE				(36) IRAN			
26	mai 1965	Hussein NUR ELMI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	16	novembre 1965	Dr. Fereydoun DIBA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
25	avril 1968	Mohamud Mohamed HASSAN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	5	avril 1968	Dr. S. Mehdi PIRASTEHE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
				25	juillet 2000	Abolghasem DELFI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(26) COLOMBIE				(37) CAMEROUN			
6	juillet 1961	Gabriel GIRALDO JARAMILLO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	11	juillet 1966	Ferdinand Léopold OYONO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
16	septembre 1975	Dr. German BULA-HOYOS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	14	avril 1970	Aimé Raymond N'THEPE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
7	décembre 1998	Roberto ARENAS BONILLA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	10	octobre 1989	Mme Isabelle BASSONG	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(27) TCHAD				(38) SRI LANKA			
10	juillet 1961	Adoum AGANY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	18	août 1966	A. BASNAYAKE	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
9	décembre 1969	Aladjj OUEDDO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	11	juillet 1967	Sir Lalita RAJAPAKSE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
7	janvier 2000	Abderahim Yacoub NDIAYE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	26	octobre 2000	Chrysantha Romesh JAYASINGHE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(28) NIGER				(39) PORTUGAL			
11	juillet 1966	Yacouba DJIBO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	11	décembre 1964	Albano Pires Fernandes NOGUEIRA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
7	mai 1969	Jean POISSON	<i>Amb. Ex. Plé.</i>			
			23	juillet 1970	Fernando de MAGALHÃES CRUZ	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
26	novembre 1996	Houseini ABDOU SALEYE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>			
(29) REPUBLIQUE DU CONGO				[Mission changée en représentation d'un Etat membre en janvier 1986]			
11	janvier 1967	Bernardin MURGUL-DIAKA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	(40) REPUBLIQUE DOMINICAINE			
20	septembre 1967	Lieutenant-Colonel Joseph NZAB	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	10	février 1967	Hector ARISTY-PEREYRA ^{d)}	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
			1er	octobre 1970	Anselmo PAULINO-ALVAREZ	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
		
20	juillet 1999	Jacques OBIA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	17	juillet 1995	Mme Clara QUIÑONES	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(30) MADAGASCAR				(41) REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO			
13	septembre 1963	Armand RAZAFINDRABE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	14	avril 1967	Charles POATY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
31	octobre 1973	Jules A. RAZAFIMBAHINY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	8	juillet 1970	François Luc MACOSSO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
			11	juillet 2001	Mme TSHIBOLA-tshia-KADIEBUE	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
6	mars 1995	Jean BERIZIKY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>			
(31) BURKINA FASO				(42) VENEZUELA			
5	octobre 1966	Michel KOMPAORE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	9	février 1965	Manuel Rafael RIVERO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
18	septembre 1972	Pierre ILBOUDO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	19	décembre 1967	Hernán Gonzáles VALE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
			10	mai 2002	Mme Lucymar RIVAS	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
24	juillet 2001	Kadré Désiré OUEDRAOGO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	(43) PAKISTAN			
(32) BENIN				10	octobre 1966	S. Osman ALI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
14	avril 1967	Laurent Cyrille FABOUMY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	10	décembre 1968	Riaz PIRACHA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
28	février 1973	Gratien-Lazare GOGNON	<i>Amb. Ex. Plé.</i>			
			11	octobre 2001	Shaukat UMER	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
29	janveir 2002	Euloge HINVI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>			

川崎晴朗：欧州共同体による使節権の行使状況 1967 - 2002年

(44) LIBAN				(55) HAÏTI			
27 septembre 1966	Kesrouan LABAKI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		8 octobre 1964	Jean-Claude KERNISAN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
16 janvier 1979	Josef DONATO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		29 mai 1969	Rodrigue L. RAYMOND	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
19 octobre 1999	Fawzi FAWAZ	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		24 novembre 1993	Mme Yvette AZOR-CHARLES	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(45) CHILI				(56) MALI			
9 avril 1965	José PIÑERA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		26 janvier 1967	Hamaciré N'DOURE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
25 juillet 1967	Alfonso SANTA CRUZ BARCELO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		12 mars 1968	Seydou TRAORE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
25 juin 2001	Alberto VAN KLAVEREN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		25 janvier 2000	Ahmed Mohamed AG HAMANI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(46) TUNISIE				(57) TURQUIE			
30 octobre 1962	Shaheddine EL GOULLI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		2 décembre 1964	Ziya MÛZZINOGLU	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
11 novembre 1969	Mahamoud MESTIRI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		22 septembre 1972	Tevfik SARAÇOGLU	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
23 mai 2000	Shaheddine BEN M'BAREK	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		1er août 1999	Hakan AYTEK	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	
(47) ARGENTINE				(58) EQUATEUR			
10 février 1967	Leopoldo Hugo TETTAMANTI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		20 décembre 1966	Alfredo VALDIVIESO GANGOTENA	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	
5 mars 1974	Idefonso RE CALDE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				
			10 mai 1971	Antonio José Lucio PAREDES	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
23 juillet 2002	D. Jorge REMES LENICOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				
(48) BURUNDI				18 avril 2002	Méntor VILLAGOMEZ MERINO	<i>Amb. Ex. Plé. ^o</i>	
26 juin 1967	André MUYUMBU	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(59) REPUBLIQUE DE COREE			
1er juillet 1969	Laurent NZEYIMANA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		27 septembre 1966	Duk Choo MOON (文徳周)	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
			21 septembre 1971	I1 Yung CHUNG (鄭一永)	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
8 avril 1999	Philippe NTAHONKURIYE	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>				
(49) COSTA-RICA				11 octobre 2001	PARK Yung-chun (朴楊干)	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
1er octobre 1965	Baronne van HAERSOLTE van HAERST	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>		(60) ALGERIE			
			14 mai 1964	Boualem BESSAIH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
12 décembre 1967	Dr. Herbert HÛTT GIL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		1er février 1971	Messaoud AIT CHAALAL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
1er décembre 1999	Mme Maria Salvadora ORTIZ ORTIZ	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>		29 janvier 2002	Halim BENATTALLAH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(50) THAÏLANDE				(61) FINLANDE			
26 juillet 1965	Vikrom NINNAD	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>		23 juillet 1964	Olavi Kalervo MURTO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
5 novembre 1968	Phairot JAYANAMA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		29 février 1968	Reino Ilmari HONKARANTA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
28 septembre 2000	Surapong POSAYANOND	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		[Mission changée en représentation d'un Etat membre en janvier 1995]			
(51) RWANDA				(62) PHILIPPINES			
21 février 1963	Augustin MUNYANEZA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		11 décembre 1964	Vicente I. SINGIAN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
9 novembre 1971	Léonidas MUNYANSHONGORE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		5 février 1973	Carlos A. FAUSTINO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
27 mai 2002	Mme Christine NYINAWUMWAMI UMUTONI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		26 septembre 2000	Clemencio MONTESA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(52) URUGUAY				(63) EL SALVADOR			
26 mai 1966	Guillermo STEWART	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>		9 avril 1965	Ricardo GALLARDO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
9 mars 1968	Jorge BARREIRO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		16 septembre 1980	Francisco A. SOLER	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
23 janvier 2001	Jorge TALICE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		23 juillet 2002	Héctor GONZALEZ URRUTIA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(53) ISLANDE				(64) TRINITE-ET-TOBAGO			
10 février 1966	Henrik Sv. BJÖRNSSON	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		5 juillet 1965	Wilfred Andrew ROSE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
29 février 1968	Niels P. SIGURDSSON	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		11 novembre 1969	Donald C. GRANADO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
12 mars 1997	Gunnar Snorri GUNNARSSON	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		7 avril 1995	Mlle Susan GORDON	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	
(54) NIGERIA				(65) GUATEMALA			
24 novembre 1966	Dickson Ch. IGWE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		29 juillet 1965	Carlos PAREDES-LUNA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
26 novembre 1970	Muhammed Aminu SANUSI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		27 juillet 1971	José Antonio PALACIOS GARCIA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
27 février 2001	Gabriel Sam AKUNWAFOR	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		28 septembre 2000	Edmond MULET-LESIEUR	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	

- (66) EGYPTÉ
 1er décembre 1966 Ahmed Zaki Abou EL NASR *Chargé d'Af.a. i.*
 10 décembre 1968 Aly Hamdy HUSSEIN *Amb. Ex. Plé.*

 6 décembre 2001 Soliman AWAAD *Amb. Ex. Plé.*
- (67) SOUDAN
 27 septembre 1966 Sayed-Mohamed Abdel-Madid AHMED *Amb. Ex. Plé.*
 [Mission fermée entre janvier 1970 et juillet 1975]⁹⁾
 15 juillet 1975 Izzeldin Halid EL-HASSAN *Amb. Ex. Plé.*

 11 octobre 2001 Ali Youssif AHMED *Amb. Ex. Plé.*
- (68) PARAGUAY
 29 décembre 1966 J. Rodolfo OCAMPOS *Chargé d'Af.a. i.*
 21 septembre 1982 Alfredo CAÑETE *Amb. Ex. Plé.*

 21 mai 1997 Manuel Maria CACERES CARDOZO *Amb. Ex. Plé.*
- (69) SYRIE
 11 janvier 1967 Selim EL-YAFI *Chargé d'Af.a. i.*
 14 juillet 1968 Wasfi A FLAK *Chargé d'Af.a. i.*
 13 mai 1969 Kanaan HADID *Chargé d'Af.a. i.*
 16 septembre 1970 Moussa EL-ZOUOUBI *Chargé d'Af.a. i.*
 26 novembre 1970 Dr. Adib DAOUDY *Amb. Ex. Plé.*

 17 décembre 1999 Dr. Hani HABEEB *Chargé d'Af.a. i.*
- (70) PANAMA
 7 mars 1967 Juan Alberto MORALES *Amb. Ex. Plé.*
 26 juin 1970 Prof. Dr. Manuel VARELA, Jr. *Amb. Ex. Plé.*

 22 juin 2000 Rolando A. GUEVARA ALVARADO *Amb. Ex. Plé.*
- (71) JAMAÏQUE
 15 mai 1967 Lancelot F COLLYMORE *Chargé d'Af.a. i.*
 30 mars 1971 Sir Laurence LINDO, C. M. G. *Amb. Ex. Plé.*

 24 octobre 1994 Douglas A. C. SAUNDERS *Amb. Ex. Plé.*
- (72) ARABIE SAOUDITE
 10 mai 1967 Fuad NAZIR *Amb. Ex. Plé.*
 13 juin 1973 Mohamed CHARARA *Amb. Ex. Plé.*

 28 juin 1994 Nassir ALASSAF *Amb. Ex. Plé.*
- (73) MALTE
 29 février 1968 George T. CURMI, O. B. E., T. D. *Amb. Ex. Plé.*

 21 mai 1997 Victor CAMILLERI *Amb. Ex. Plé.*
- (74) TANZANIE⁹⁾
 9 mars 1968 Daniel OWINO *Amb. Ex. Plé.*
 21 août 1970 J.N. ONYANGO *Chargé d'Af.a. i.*

 19 novembre 1976 Daniel Narcis Mtonga MLOKA *Amb. Ex. Plé.*

 15 juillet 1996 Ali Abeid Aman KARUME *Amb. Ex. Plé.*
- (75) KENYA⁹⁾
 9 mars 1968 Daniel OWINO *Amb. Ex. Plé.*
 21 août 1970 J.N. ONYANGO *Chargé d'Af.a. i.*

 21 août 1970 ONYANGO *Chargé d'Af.a. i.*
 19 octobre 1999 Peter NKURAIYA *Amb. Ex. Plé.*
- (76) GHANA
 5 avril 1968 Prof. Dr. John COLEMAN de GRAFT JOHNSON *Amb. Ex. Plé.*

 25 février 2002 Kobina WUDU *Amb. Ex. Plé.*
- (77) OUGANDA⁹⁾
 30 mai 1968 Daniel OWINO *Amb. Ex. Plé.*
 21 août 1970 J.N. ONYANGO *Chargé d'Af.a. i.*

 1er mars 1976 Eliphaz A. ODEKE *Amb. Ex. Plé.*

 28 juin 2000 Lewis D. BALINDA *Chargé d'Af.a. i.*
- (78) LIBYE
 16 juillet 1968 Aref BEN MUSA *Amb. Ex. Plé.*
 23 septembre 1976 1976 Ali M. BUHIDMA *Amb. Ex. Plé.*
 12 mai 1980 HAAMID LAHDIRI¹⁰⁾ *Secrétaire du Comité populaire*

 21 novembre 1995 Hamed Ahmed ELHOUDERI *Secrétaire du Bureau populaire*
- (79) MALAISIE
 26 septembre 1968 Dato' Philip KUOK HOCK KHEE *Amb. Ex. Plé.*

 13 décembre 1999 Dato' Mohd. Ridzam Deva bin ABDULLAH *Amb. Ex. Plé.*
- (80) REPUBLIQUE SOCIALISTE FEDERATIVE DE YOUgoslavIE¹⁾
 26 septembre 1968 Milos OPRESNIK *Amb. Ex. Plé.*

 9 novembre 1989 Mihajlo CRNOBRNJA *Amb. Ex. Plé.*
 [Mission fermée en mai 1992]
- (81) INDONESIE
 5 novembre 1968 Raden Bagoes Idrus Nazir DJAJADININGRAT *Amb. Ex. Plé.*

 20 juillet 1999 Nasrudin SUMINTAPURA *Amb. Ex. Plé.*
- (82) CHYPRE
 5 mars 1970 Polys MODINOS *Amb. Ex. Plé.*

 23 mai 2000 Theophilos THEOPHILOU *Amb. Ex. Plé.*
- (83) AFRIQUE DE LEST⁹⁾
 Kenya-Ouganda-Tanzanie
 21 août 1970 J.N. ONYANGO *Chargé d'Af.a. i.*
 [Mission entretenue entre mars 1974 et mars 1976]
- (84) NICARAGUA
 23 septembre 1970 Harry BODAN SHIELDS *Chargé d'Af.a. i.*
 15 juillet 1975 Alvaro RIZO CASTELLON *Amb. Ex. Plé.*

 25 juillet 2000 Sergio Mario BLANDÓN *Amb. Ex. Plé.*
- (85) SAINT-SIEGE
 26 novembre 1970 Mgr H. Eugène CARDINALE *Nonce apostolique*

 12 avril 1999 Mgr Faustino SAINZ MUÑOZ *Nonce apostolique*

川崎晴朗：欧州共同体による使節権の行使状況 1967 - 2002年

(86) ETHIOPIE				(97) HONDURAS			
26 novembre 1970	Lij Michaël IMRU	Amb. Ex. Plé.		15 mars 1973	Prof. Emmanuel COPPIETERS de ter ZAELE		
8 juillet 1974	Ghebrehidan ALULA ^{d)}					Chargé d'Af. a. i.	
	<i>Représentant plénipotentiaire du Gouvernement militaire provisoire</i>			29 mai 1973	Mario CARIAS	Amb. Ex. Plé.	
3 juillet 1979	Yigezu SEIFU	Chargé d'Af. a. i.		27 juin 2000	Mme Doris GARCIA PAREDES		
23 juillet 1979	Dr.Ghebray BERHANE	Amb. Ex. Plé.				Chargé d'Af. a. i.	
24 avril 2002	Ato BERHANE GEBRE-CHRISTOS	Amb. Ex. Plé.		(98) REPUBLIQUE ARABE YEMENITE ¹⁾			
(87) IRAQ				13 avril 1973	Ahmed Kaid BARAKAT	Amb. Ex. Plé.	
30 mars 1974	Ghaib Mouloud MUKHLIS	Amb. Ex. Plé.					
12 août 2001	Dr. Riadh Ismaïl AL-WEYES	Chargé d'Af. a. i.		18 février 1985	Mohammed Abdul Rehman AL-ROBAEE	Amb. Ex. Plé.	
(88) SIERRA LEONE					[Mission fermée en mai 1990]		
11 mai 1971	Desmond E.F LUKE	Amb. Ex. Plé.		(99) SWAZILAND			
7 février 1995	James A. GOODWYLL	Chargé d'Af. a. i.		20 mai 1973	S.A. PATO	Chargé d'Af. a. i.	
(89) MAURICE				23 juin 1973	A.T. OTTEN	Chargé d'Af. a. i.	
11 mai 1971	Sir Leckraz TEELock, Kt., C.B.E.	Amb. Ex. Plé.		18 décembre 1973	T.M.J. ZWANE	Amb. Ex. Plé.	
15 mai 2001	Sutiawan GUNESSEE	Amb. Ex. Plé.		13 mars 1997	Mme Thembayena Annastasia DLAMINI	Amb. Ex. Plé.	
(90) JORDANIE				(100) MYANMAR			
21 septembre 1971	Nijmeddin DAJANI	Amb. Ex. Plé.		22 mai 1973	U Ba SAW	Amb. Ex. Plé.	
20 décembre 2001	Mme Alia HATOUGH BOURAN	Amb. Ex. Plé.		24 juin 2002	U Wunna Maung Lwin	Amb. Ex. Plé.	
(91) MALAWI				(101) GAMBIE			
9 novembre 1971	Edson Dawson PHAKAMEA	Amb. Ex. Plé.		13 juin 1973	Sheriff Mustapha DIBBA	Amb. Ex. Plé.	
29 janvier 2002	Dr. Jerry Aleksander ALIKOPAGA JANA	Amb. Ex. Plé.		27 février 2001	Aliou M. NGUM	Amb. Ex. Plé.	
(92) ILES FIDJI				(102) BANGLADESH			
9 novembre 1971	Josua R. RABUKAWAQA, M.V.O., M.B.E.	Amb. Ex. Plé.		24 juillet 1973	A.M.Sanaul HUQ	Amb. Ex. Plé.	
26 mars 1999	Isikeli Uluinairai MATAITOGA	Amb. Ex. Plé.		10 juillet 2000	Muhammad ZAMIR	Amb. Ex. Plé.	
(93) SINGAPOUR				(103) BARBADE			
20 juillet 1972	Rih Hwa HO	Amb. Ex. Plé.		21 septembre 1973	James Cameron TUDOR, C.M.G.	Amb. Ex. Plé.	
14 septembre 1999	Ampalavanar SELVERAJAH	Amb. Ex. Plé.		15 mai 2001	Errol HUMPHREY	Amb. Ex. Plé.	
(94) REPUBLIQUE DU VIE T-NAM				(104) LIBERIA			
4 novembre 1972	Mlle DO-THI-THUY-NGOC	Chargé d'Af. a. i.		3 décembre 1974	S. Othello COLEMAN	Amb. Ex. Plé.	
4 janvier 1973	LE-QUANG-QUI	Chargé d'Af. a. i.		25 janvier 1999	Dr. Othello C.BRANDY	Amb. Ex. Plé.	
29 mai 1974	LE-VAN-HOA	Chargé d'Af. a. i.		(105) NEPAL			
2 juillet 1974	NGUYEN PHU DUC	Amb. Ex. Plé.		20 janvier 1975	Ishwari Man SHRESTA	Amb. Ex. Plé.	
	[Mission fermée en mai 1979] ^{k)}			23 juillet 2002	Narayan Shumshere THAPA	Amb. Ex. Plé.	
(95) BOTSWANA				(106) LESOTHO			
5 février 1973	Mme Gaositwe K.T. CHIEPE, M.B.E.	Amb. Ex. Plé.		20 janvier 1975	Philip Makalo MABATHOANA	Amb. Ex. Plé.	
14 mai 1996	Sasara GEORGE	Amb. Ex. Plé.		17 novembre 2000	Mme Palesa Maleopane MOKETE	Chargé d'Af. a. i.	
(96) GUYANE				(107) BOLIVIE			
13 février 1973	Vernon M.BROWNE	Chargé d'Af. a. i.		15 juillet 1975	Gustavo MEDEIROS QUEREJAZU	Amb. Ex. Plé.	
28 février 1973	Winston S. MURRAY	Chargé d'Af. a. i.		23 janvier 2001	Carlos RIOS DABDOUB	Amb. Ex. Plé.	
13 avril 1973	Lawrence Everil MANN	Amb. Ex. Plé.		(108) CHINE			
11 juillet 2002	Kenneth ES. KING	Amb. Ex. Plé.		16 septembre 1975	LI Lien-pi (李連璧)	Amb. Ex. Plé.	
				20 décembre 2001	GUAN Chengyuan (閻呈遠)	Amb. Ex. Plé.	

(109) SURINAME				(122) ANGOLA			
19	juillet 1976	Robert Adolf FERRIER * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	29	mai 1980	Fernando José de França DIAS VAN DUNEM * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
18	avril 2002	Gerhard Otmar HIWAT * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	27	février 2001	Armando MATEUS CADETE * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(110) QATAR				(123) GRENADÉ			
5	avril 1977	Khalifa Sultan AL-ASIRY * * * * * ^{m)} EL RABI	<i>Amb. Ex. Plé.</i> <i>Chargé d'Af.a. i.</i>	23	juillet 1980	G.R.E. BULLEN * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(111) PAPOUASIE-NOUVELLE-GUINÉE				13	juin 1995	Avigdor HACHAM OFF * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
20	juillet 1977	Peter Dickson DONIGI * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	(124) ZIMBABWE			
12	jan vier 1978	William C. DIHM * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	6	novembre 1980	Arthur J. CHADZINGWA * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
18	décembre 1979	Frédéric B.C. REIHER * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	17	février 1981	F. Arthur BLUMERIS * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
26	mars 1996	Gabriel PEPSON * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	22	février 2000	Kelbert NKOMANI * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(112) TONGA				(125) GUINÉE ÉQUATORIALE			
25	juillet 1977	Inoke F. FALETAU * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	16	décembre 1980	Julian Abaga Ada Nsogo ESHONO * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
23	jan vier 2001	Fetu'utolu TUPOU * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	26	juin 2000	Mme Mari-Cruz EVUNA ANDEME * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
(113) GUINÉE				(126) COMORES			
25	juillet 1977	Seydau KEITA * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	5	mai 1982	Ali MLAHAILI * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
13	octobre 1989	Ousmane Tolo THIAM * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	22	décembre 2000	Amoïss ASSOUMANI * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
(114) GUINÉE-BISSAU				(127) ÉMIRATS ARABES UNIS			
26	juillet 1977	Luis d'OLIVEIRA SANCA * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	14	décembre 1982	Issa Khalfan AL-HURAIMEL * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
26	décembre 2001	José Francisco DA COSTA * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	12	février 1999	Abdel Hadi Abdel Wahid AL-KHAJAH * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(115) ZAMBIE				(128) MALDIVES			
22	août 1977	N.M. ZIMBA * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	22	février 1983	Ahmed ZAKI * * * * * ^{o)}	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
21	novembre 1977	Windsor Kapalakonye NKOWANI * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	(129) SÂO TOME E PRINCEPE			
9	octobre 1996	Mme J.M.C. MUSENGE * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	22	février 1983	Pradique B. de MENEZES * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(116) AFGHANISTAN				28	décembre 1992	António DE LIMA VIEGAS * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
21	novembre 1977	Dr.Mohamed AKRAM * * * * * ⁿ⁾	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	(130) SAINT-MARIN			
24	juillet 2002	Umayun TANDAR * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	19	avril 1983	Raffaele GIARDI * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
(117) SEYCHELLES				2	janvier 1986	Mme Antonella BENEDET TINI DE FAVERI * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
15	mars 1978	Ralph L. ADAM * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	2	juin 1988	Adalmiro BARTOLINI * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
29	juin 1998	Callixte d'OFFAY * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	21	mai 1997	Mme Savina ZAFFERANI * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(118) DJIBOUTI				(131) BELIZE			
20	novembre 1979	Ahmed Ibrahim ABDI * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	6	octobre 1983	Rudolph I. CASTILLO * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
23	jan vier 2001	Mohamed MOUSSA CHEHEM * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	25	mars 2002	Mme Yvonne HYDE * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(119) ILES SALOMON				(132) COMMONWEALTH DE DOMINIQUE ^{p)}			
20	novembre 1979	Francis BUGOTU * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	23	janvier 1984	Arden SHILLINGFORD, M. B. E. * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
15	juillet 1996	Robert SISILO * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	28	juin 2000	Dr. Arnold THOMAS * * * * *	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>
(120) CAP-VERT				(133) SAINTE-LUCIE ^{p)}			
25	juillet 2000	Fernando Jorge WAHNON FERREIRA * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	21	février 1984	Dr. Claudius C. THOMAS, C.M.G. * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
19	décembre 1995	José ROCHA * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	21	février 1994	Edwin LAURENT * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>
(121) OMAN							
18	mars 1980	Ahmed Abdul Nabi MACKI * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				
24	juin 2002	Mme Khadija bint Hassan Salman AL-LAWATI * * * * *	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				

川崎晴朗：欧州共同体による使節権の行使状況 1967 - 2002年

(134) ANTIGUA-ET-BARBUDA ^{b)}				(147) BRUNEI			
21 février 1984	Ronald SANDERS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		14 juin 1989	PENGIRAN SETIA RAJA PENGIRAN HAJI JAYA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
28 juin 2000	Dr. Arnold THOMAS	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>		18 avril 2002	PENGIRAN MASHOR Pengiran Ahmad	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(135) SAMOA				(148) POLOGNE			
21 mai 1985	Feesago Siaosi FEPULE'AI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		14 juin 1989	Stanislaw MATOSEK	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
16 septembre 1997	Tauiliili Uili MEREDITH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		18 avril 2002	Marek GRELA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(136) MOZAMBIQUE				(149) REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE POPULAIRE DU YEMEN ¹⁾			
25 juillet 1985	Mme Frances Vitoria VELHO RODRIGUES	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		20 juillet 1989	Ali Muthana HASSON	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
				[Mission fermée en mai 1990]		
15 juillet 1996	Alvaro Manuel TRINDADE O DA SILVA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(150) BULGARIE			
(137) KOWEÏT				5 avril 1990	Atanas G. GUINEV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
3 mars 1986	Abdulmohsen N.A. EL-JEAAN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				
			6 décembre 2001	Stanislav DASKALOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
23 janvier 2001	Abdulazeez A. AL-SHARIKH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(151) ROUMANIE			
(138) BAHAMAS				1er juin 1990	Constantin PARVUTOIU	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
16 septembre 1986	Richard C. DEMERITTE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				
			25 juin 2001	Lazar COMANESCU	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
10 juillet 2000	Basil G. O'BRIEN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(152) MONGOLIE			
(139) BHOUTAN				21 juin 1990	Luvсандоржин MUNDAGBAATAR	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
25 novembre 1986	Tobgye S. DORJI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				
			6 décembre 2001	Mme Sodoviin ONON	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
22 février 2000	Bap KESANG	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(153) REPUBLIQUE SOCIALISTE DU VIET-NAM ^{b)}			
(140) LAOS				1er janvier 1991	HOANG VAN NHA	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	
2 juin 1988	Thongsay BODHISANE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		16 septembre 1991	DINH PHU DINH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
31 mai 2001	Thongphachanh SONNASINH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		23 mai 2000	Mme TON Nu Thi Ninh	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(141) SAINT-VINCENT-ET-LES-GRENADINES ^{b)}				(154) NAMIBIE			
12 juillet 1988	Alan Richard GUNN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		3 septembre 1991	Theo HESS	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	
			4 février 1992	Shapua N. KAUKUNGA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
10 avril 1995	Edwin LAURENT	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		14 mai 1996	Zedekia Josef NGAVIRUE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(142) CUBA				(155) RUSSIE ^{e)}			
24 janvier 1989	Mme Teresita AVERHOFF PURÓN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		3 avril 1989	Valentin BOGOMAZOV	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	
			31 mars 1992	Ivan SILAYEV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
25 septembre 1996	René MUJICA CANTELAR	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		29 juin 1998	Vási l'iy LIKHACHEV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(143) HONGRIE				(156) REPUBLIQUE DU YEMEN ^{d)}			
24 janvier 1989	Jozsef NEMETH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		18 février 1985	Mohammed Abdul Rehman AL-ROBAEE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
		
10 février 1995	Endre JUHÁSZ	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		28 juillet 1998	Ahmed Abdulkarim Mohamed HAJAR	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	
(144) UNION DES REPUBLIQUES SOCIALISTES SOVIETIQUES ^{e)}							
2 mars 1989	Vladimir Guéorguévitch SHEMIATENKOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(157) ALBANIE			
			13 janvier 1992	Petraç POJANI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
28 mai 1991	Lev Alexéevitch VORONINE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>				
[Mission fermée en décembre 1991]				29 janvier 2002	Artur KUKO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(145) REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE ALLEMANDE ^{r)}				(158) LITUANIE			
2 mars 1989	Ingo OESER	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		4 février 1992	Adolfas VENSKUS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
[Mission fermée en octobre 1990]						
(146) TCHECOSLOVAQUIE ^{s)}				6 décembre 2001	Oskaras JUSYS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
5 juin 1989	Karel LUKAS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(159) LETTONIE			
[Mission fermée en décembre 1993]				7 février 1992	Niels DAHLMANN ¹⁾	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	
				17 février 1993	Aivars BERNERS	<i>Chargé d'Af.a. i.</i>	
				14 octobre 1993	Juris KANEL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
				17 mars 1998	Andris PIEBALGS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	

(160) ESTONIE				(172) CAMBODGE			
27 mars 1992	Clyde KULL	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		5 avril 1994	Mme Saphoen SUN	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
26 janvier 1998	Priit KOLBRE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		1er juillet 1994	Mme Sophie SANNARD	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
(161) SLOVENIE				10 octobre 1994	Namhong HOR	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
24 avril 1992	Lojze SOCAN	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		13 décembre	1999 PRAK Sokhonn	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
14 décembre 1992	Boris CIZELJ	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(173) MOLDOVA			
23 juillet 2002	Ciril STOKELJ	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		11 avril 1994	Nicolae TABACARU	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
(162) CROATIE				3 mai 1995	Tudor BOTNARU	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
14 décembre 1992	Ante CICIN-SAIN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		22 mars 1999	Ion CAPATINA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
24 octobre 1994	Zoran JASIC	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(174) BELARUS			
23 janvier 2001	Vladimir DROBNJAK	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		20 juin 1994	Aliaksandr KHAINOUSKI	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
(163) REPUBLIQUE TCHEQUE ³⁾				20 septembre 1994	Igar SYRETS	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
1er janvier 1993	Pavel TELICKA	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		17 octobre 1994	Vladimir LABUNOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
24 novembre 1993	Josef KREUTER	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		11 octobre 2001	Sergei N.MARTYNOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
23 mai 2000	Libor SECKA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(175) ERYTHREE			
(164) SLOVAQUIE ³⁾				17 octobre 1994	Gebremicael MENGHISTU	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
1er janvier 1993	Jan VARSO	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		21 mai 2000	Negassi Kassa TEKLE	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
28 juin 1994	Jan LISUCH	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(176) OUZBEKISTAN			
27 avril 1999	Juraj MIGAS	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		23 décembre 1994	Alisher FAIZULLAEV ^{w)}	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
(165) UKRAINE				4 juin 1996	FAIZULLAEV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
10 février 1993	Victor MASHTABEY	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		6 décembre 2001	Alisher SHAYKHOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
23 avril 1993	Volodymyr VASSYLENKO	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(177) SAINT-CHISTOPHE-ET-NEVIS ³⁾			
23 mai 2000	Roman Vasylyovych SHPEK	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		10 avril 1995	Edwin LAURENT	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(166) KIRGHISTAN				(178) ANDORRE			
1er janvier 1993	Sergey KASYMKULOV	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		30 mai 1995	Albert PINTAT SANTOLARIA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
17 juillet 1995	Tchinguiz AITMATOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		4 juillet 1997	Mme Meritxell MATEU I PI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(167) BOSNIE-ET-HERZEGOVINE				(179) REPUBLIQUE FEDERALE DE YOUGOSLAVIE ^{i,w)}			
4 avril 1993	Nedžad HADZIMUSIC	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		3 août 1988	Dusko LOPANDIC	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
7 juillet 1998	Hari s LUKOVAC	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		15 octobre 1988	Mme Marija BEDENIK	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
25 mars 2002	Zdenko MARTINOVIC	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		9 novembre 1989	Mihajlo CRNOBRNJA	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(168) GEORGIE				14 juillet 1994	Dragoslav JOVANOVIC	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
14 juin 1993	Konstantin GUEDEVANICHVILI	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		28 juin 1996	Nikola LUKIC	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
29 juillet 1993	Zourab ABACHIDZE	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		4 septembre 2000	Dragan ZUPANJEVAC	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
25 janvier 1999	Konstantin ZALDASTANISHVILI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		25 juin 2001	Pavle JEVREMOVIC	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(169) ARMENIE				(180) MACEDOINE (ANCIENNE REPUBLIQUE YOUGOSLAVE DE MACEDOINE)			
25 juillet 1993	Christian TER STEPANIAN	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		27 février 1996	Jovan TEGOVSKI	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
6 mars 1995	Armen SARKISSIAN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		11 octobre 2001	Sasko STEFKOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
26 janvier 1998	Viguen TCHITETCHIAN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(181) AZERBAIDJAN ³⁾			
(170) LIECHTENSTEIN				11 mars 1997	Mir-Gamza EFENDIEV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
14 octobre 1993	Princesse Maria-Pia de LIECHTENSTEIN ^{v)}	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		23 janvier 2001	Arif MAMEDOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
24 octobre 1994	Princesse de LIECHTENSTEIN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(182) TURKMENISTAN			
26 novembre 1996	Prince Nicolas de LIECHTENSTEIN	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		11 novembre 1997	Niyazklych NURKLYCHEV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
(171) KAZAKHSTAN				(183) MONACO ³⁾			
10 janvier 1994	M.S. TACHIBAEV	<i>Chargé d'Afa. i.</i>		7 janvier 2000	Jean GRÉTHER	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
18 avril 1994	Aoueskhan KYRBASSOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		(184) TADJIKISTAN			
27 mai 2002	Tuletai SULEIMENOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>		9 janvier 2002	Djamshed KHAMIDOV	<i>Chargé d'Afa. i.</i>	
				29 janvier 2002	Sharif RAHIMOV	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	
				(185) ILES COOK			
				25 mars 2002	Todd McCLAY	<i>Amb. Ex. Plé.</i>	

付表の注

- a) Boyesen 大使は、1955年末から ECSC 最高機関に対するノルウェー代表であった（前稿、7ページ）。
- b) Gueye 大使は、EEC に対するセネガルの初代代表であった（前稿、14ページ）。
- c) 1990年4月版外交団リストによると、当時 EEC に対するソマリア代表部には Ali Hassan Ali 大使（1989年11月9日信任）及び3名の館員がいた。Ali 大使は離任、1991年4月版リストでは Ahmed Shire Mohamud 大使が “ désigné ” の状態にあり、Abdirazak Ashkir Abdi 一等参事官が臨時代理大使となっていた。しかし、Mohamud 大使は信任状の提出に至らず、彼の名は外交団リストから削除され、1992年10月版になると館員も全部リストから消えた。この状態は2003年10月版でも変わらず、ソマリア代表部は事実上閉館のままとなっている如くである。
- d) EC 委員会、*Bulletin*、1970年12月号によると、Aristy-Pereyra 大使の任期が終了したのは1969年11月であったという（ポイント108）。
- e) 欧州委員会、*Bulletin*、2002年7・8月号によると、エクアドルの Kenneth F.S. King 大使が2002年7月11日、二つの共同体に信任された（ポイント1 .6 . 160） Villagomez Merino 大使の任期は非常に短かったようである。
- f) EC 委員会、*Bulletin*、1975年7・8月、ポイント2359。Ahmed 大使はEEC のみに信任されていたが、*Bulletin* は、3共同体との関係は在パリのスーダン外交代表部に委ねられた（entrusted）といい、EC 委員会の外交団リストも、1970年3月版以降はスーダンの在フランス大使館が共同体に対する代表部を兼ねるとしている。スーダン代表部が一時期閉鎖されたとするのは適切ではないかも知れない。
- g) ケニア、ウガンダ及びタンザニアは東アフリカ共同体の構成国で、1973年をはじめから一時期、EEC に同共同体として代表部を置いた。同共同体の代表部は（83）に掲げる。本稿（2）参照。
- h) リビアの在ベルギー大使館は EEC に対する代表部を兼ねていたが、1980年5月、同大使館は「人民事務所」となった。本稿 8 .(1) (i) 参照。
- i) いわゆる旧ユーゴスラヴィアで、新ユーゴスラヴィアは（179）に掲げる。本稿（1）参照。
- j) 1974年4月、エチオピアで軍を中心とする反体制運動が生まれ、6月29日には軍は全土を管轄下に置いた。9月12日に帝制が廃され、共和制に移行した。エチオピアの EEC に対する代表部は当初ジュネーブに置かれたが、EC 委員会対外関係総局が1975年7月16日付で発行した *Avis No.22 / 75* によると、エチオピアの EEC 代表部はジュネーブから同国の在ボン大使館内に移された。1976年12月15日版外交団リストによると代表部に館員はおらず、仮アドレスはアディス・アベバとなっている。エチオピアは、1979年、改めて3共同体に対する代表部をブリュッセルに開設した。
- k) EC 委員会、*Bulletin*、1975年4月、ポイント2351。南北統一のヴィエトナム社会主義共和国の代表部は（153）に掲げる。
- l) いわゆる北イエメンである。南イエメンは（149）に掲げる。1990年5月、南北イエメンは統合し、イエメン共和国となったが、同国は（156）に掲げる。本稿（4）参照。
- m) El Rabi 臨時代理大使の着任日は不明である。2000年1月版外交団リストからカタル代表は不在となったが、当時は Ahmed Hassan Al-Haiyki 参事官（1996年9月16日着任）が臨時代理大使であった。
- n) 本稿 6 . 参照。
- o) Zaki 大使及びその後任の Mohamed Musthafa Hussain（1985年2月18日信任）はいずれもモルディヴの国連常駐代表で、ニュー・ヨークに居住していたが、欧州3共同体にも信任された。Hussain 大使は1987年にニュー・ヨークを離れ、そのあと Hussain Manikfan 大使

- (1988 - 1991年) ふたたび Zaki 大使 (1993 - 1996年) さらに Hussain Shihab 大使 (1998 - 2002年) が国連常駐代表をつとめたが、いずれも兼ねて 3 共同体に信任されることなく離任した。EC 委 (欧州委員会) の外交団リストでは、1989年 4 月版以降、モルディヴ代表は空席となっているが (他に館員はいない。) Shihab 大使の後任として 2002年 11月 11日、国連代表として信任された Mohamed Latheef 大使がいずれ二つの共同体を兼任する可能性がある。
- p) カリブ共同体加盟国のうち、ドミニカ、セント・ルシア、アンティグア・バーブーダ、セント・ヴィンセント及びセント・クリストファー・ネイヴィースの 5 カ国が、Edwin Laurent 大使を EEC 及びユートラムに対する共通の代表として信任せしめつつある。本稿 (3) 参照。
- q) ロシア代表部は (155) に掲げる。本文 (5) 参照。
- r) 東ドイツは 1990年 10月 3日、西ドイツに併合された。
- s) チェッコスロヴァキアは 1993年 1月 1日、チェッコ共和国及びスロヴァキアに分裂した。チェッコ共和国代表部は (163) またスロヴァキア代表部は (164) にそれぞれ掲げる。本稿 (6) 参照。
- t) 欧州委員会、*Bulletin*、1992年 1・2月、ポイント 1.4.117。
- u) Lukovac 公使参事官は 1997年 7 月版外交団リストで登場したが、着任日は不明である。
- v) Princesse de Liechtenstein は、当初は公使の資格で臨時代理大使としてブリュッセルに赴任したが (EC 委員会、*Bulletin*、1993年 10月、ポイント 1.3.98) のち特命全権大使となり、3 共同体に対するリヒテンシュタインの初代代表として信任された。
- w) Faizullaev (資格は不明) は 1994年 12月、臨時代理大使として着任、のち特命全権大使となり、3 共同体に対するウズベキスタンの初代代表として信任された。
- x) いわゆる新ユーゴスラヴィアで、本稿 2. で述べたように、2003年 2月 4日、「セルビア・モンテネグロ」と改称した。なお、新ユーゴ初代代表の Mihajlo Crnobrnja 大使は、旧ユーゴの 3 共同体に対する最後の代表であった。
- y) 欧州委員会、1996年版一般報告は、アゼルバイジャンが 1996年に代表部を開設した (…… opened a Mission to the Communities) という (ポイント 949)。したがって、Efendiev 大使の着任前、臨時代理大使が赴任していた可能性がある。
- z) 欧州委員会、1999年度一般報告は、モナコの初代代表が 1999年に着任し、これにより第三国の代表部の数は 166 になった、と述べる (ポイント 886)。モナコ代表部は 1999年 1 月版及び 7 月版外交団リストに載っていないので、同年後半に臨時代理大使が赴任した可能性がある。

本研究で使用した各種資料の相当部分はブリュッセルにある欧州委員会より提供されたが、同地への旅行・滞在に関し、(財)カシオ科学振興財団より助成を受けた。この助成がなければ、本研究は到底完成できなかったであろう。同財団の御好意に深謝する。